

## 19 産科・婦人科研修プログラムの概要

### 1. プログラムの目的と特徴

#### 目的

2年間の卒後臨床研修終了後、当院の産科・婦人科で3年間の臨床研修を行なう事により、第一線の産婦人科医として必要な知識と技術を修得できるように構成されている。当院は、日本産科婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設に認定されており、産科婦人科専門医の資格取得が可能となる。

将来産婦人科の専門医として活躍するためには、産婦人科臨床一般のみでなく、誰にも負けない subspeciality をもつ事が重要である。最終年度は自分の興味ある専門分野を重点的に研修する事も可能である。

また、専攻医は初期研修医と異なり、臨床研修のみならず、初期研修医の教育や臨床研究活動に従事する事も重要な研修内容となる。

#### 特徴

- (1) 当院は地域の中核病院として、救命救急センターおよび新潟県総合周産期母子医療センターを併設しており、母体搬送症例も多く、周産期・婦人科の二次、三次救急に対する研修が可能である。
- (2) 周産期関連では、超音波断層法検査、パルスドップラー法を用いた診断、胎児検査（羊水穿刺など）を積極的に行なっている。
- (3) 婦人科関連では、悪性腫瘍に関する治療（根治手術、化学療法、PBSCT を用いた大量化学療法）、良性腫瘍に対する内視鏡手術（腹腔鏡、子宮鏡）、子宮筋腫、子宮脱に対する膣式手術を積極的に行なっている。
- (4) 思春期・性成熟期・更年期・老年期までの女性の生涯の健康管理に積極的に取り組んでいる。

### 2. 研修内容と到達目標

#### (1) 産科・周産期

- (a) 吸引・鉗子遂娩術、帝王切開術、骨盤位牽出術、分娩誘発・促進法についてその適応・要約を的確に判断し実行できる。[1,2年目]
- (b) 産科異常を超音波断層法検査（パルスドップラー法）、NST を用いて的確に診断し、治療できる。[1,2年目]
- (c) 種々の異常妊娠（切迫流早産、前期破水、胎児仮死、妊娠高血圧症候群、前置胎盤、常位胎盤早期剥離、多胎妊娠など）、合併症妊娠の診断・管理がで

きる。[1, 2, 3 年目]

(d) NICU 研修 3 ヶ月：新生児蘇生、輸液療法、光線療法を行なえる。[1 年目]

(e) 遺伝相談の知識を修得し、羊水穿刺ができる。[1, 2 年目]

(2) 婦人科

(a) 婦人科腫瘍の診断と治療に習熟する。[1, 2, 3 年目]

(b) 細胞診、コルポスコピー、組織診、画像診断（超音波断層法、CT、MRI）、ダグラス窩穿刺、腹腔穿刺にて診断ができる。[1, 2, 3 年次]

(c) 手術療法（手術適応、手術についてのインフォームドコンセント、術後管理を含む）[1, 2, 3 年目]

(i) 執刀：子宮内容除去術、腹式単純子宮全摘術、膣式単純子宮全摘術、付属器手術（良性腫瘍）、子宮筋腫核出術、子宮脱手術、子宮外妊娠手術、腹腔鏡下手術、子宮鏡下手術

(ii) 指導医の指導下、執刀あるいは助手：婦人科悪性腫瘍手術

(d) 婦人科悪性腫瘍に対する抗癌化学療法・放射線療法の適応・要約を判断し実施できる。[1, 2, 3 年目]

(e) STD の診断と治療ができる。[1, 2 年目]

(3) 生殖内分泌

(a) 不妊症の診断（子宮卵管造影含む）と治療（排卵誘発、人工授精）ができる。[2, 3 年目]

(b) 月経異常の診断・治療ができる。[1, 2 年目]

(c) 子宮内膜症の診断と治療ができる。[1, 2, 3 年目]

(d) 避妊指導（低用量ピル、避妊リング）ができる。[1, 2 年目]

(4) 女性の生涯の健康管理

(a) 更年期障害の診断と治療（ホルモン補充療法含む）ができる。[1, 2, 3 年目]

(b) 生活習慣病（骨粗鬆症、高脂血症、肥満など）の診断、治療ができる。[2, 3 年目]

(c) 思春期異常の診断と治療ができる。[2, 3 年目]

(5) 患者・家族および院内スタッフとの良好なコミュニケーションを構築できる。

[1, 2, 3 年目]

学術活動：

指導医の指導下、積極的に自己の臨床能力を向上させる習慣を身につける。

(1) 学会・研究会発表：最低 2 回／年

- (2) 臨床論文執筆；最低1編／年
- (3) 四水会（新潟市産婦人科公開臨床検討会）発表：最低3回／年
- (4) 将来の subspeciality の専門医取得をめざして産科婦人科学会以外の学会にも積極的に入会する。

研修医の1週間

	月	火	水	木	金
8:30	ミーティング				
9:00	病棟 産科病棟	婦人科病棟 または手術	産科病棟	手術	手術または 病棟処置
13:00	婦人科外来	手術	産科外来	手術	
16:30	NICU との検討会（隔週）				
17:00	産科・婦人科 検討会				

\*当直は土日含めて月6回前後